

2010 年 6 月の東北地方の天候

【 6 月の特徴 】

○高温

○上旬の少雨・多照

（１）2010 年 6 月の概況

月の前半は、梅雨前線が日本の南海上に停滞し、移動性高気圧におおわれ晴れの日が多かった。月の後半は、梅雨前線が本州付近まで北上し、梅雨前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった。月のはじめは寒気の影響で低温となったが、その後は日本付近に暖かい空気が入り高温の日が続き、月平均気温は東北北部で高く、東北南部でかなり高くなった。

東北南部は 14 日ごろ、東北北部は 16 日ごろ梅雨入りしたと見られ、東北南部、東北北部ともに平年より 4 日遅い梅雨入りとなった（速報値）。

月平均気温は東北北部で高く、東北南部でかなり高い。月降水量は東北北部で平年並、東北南部で多い。月間日照時間は東北地方で多い。

（２）各旬の天候経過

上旬：この期間、高気圧におおわれ晴れの日が多かった。4 日から 5 日と 10 日は上空に寒気を伴った気圧の谷の影響で雷雨となったところがあり、5 日は山形県でひょうによる被害が発生した。気温は、期間の前半は寒気の影響で低温となったが、その後は高気圧におおわれ晴れて高温となった。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北地方でかなり多い。

中旬：期間のはじめは高気圧におおわれ晴れたが、期間の中頃以降は梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多かった。16 日は梅雨前線が北上し、まとまった雨となった。20 日は上空に寒気を伴った気圧の谷の影響で雷雨となったところがあり、青森県で浸水などの被害が、宮城県でひょうによる被害が発生した。気温は、日本付近に暖かい空気が入っている影響で高温となった。

平均気温は東北北部で高く、東北南部でかなり高い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。日照時間は東北地方で平年並。

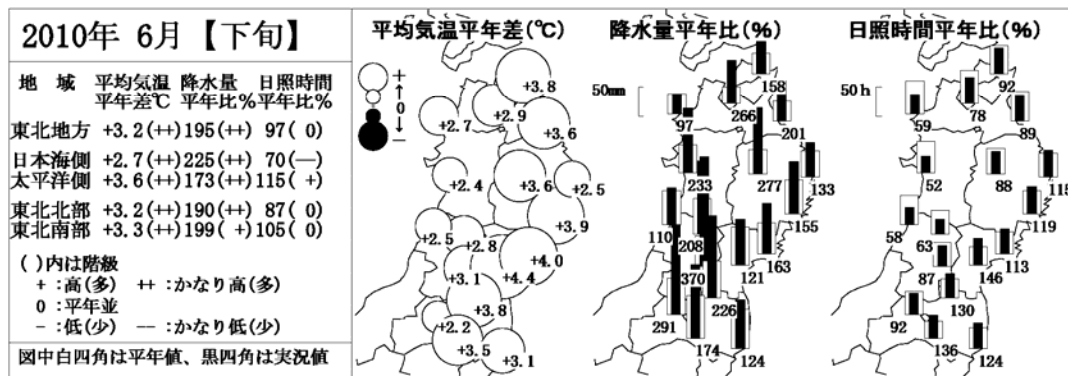
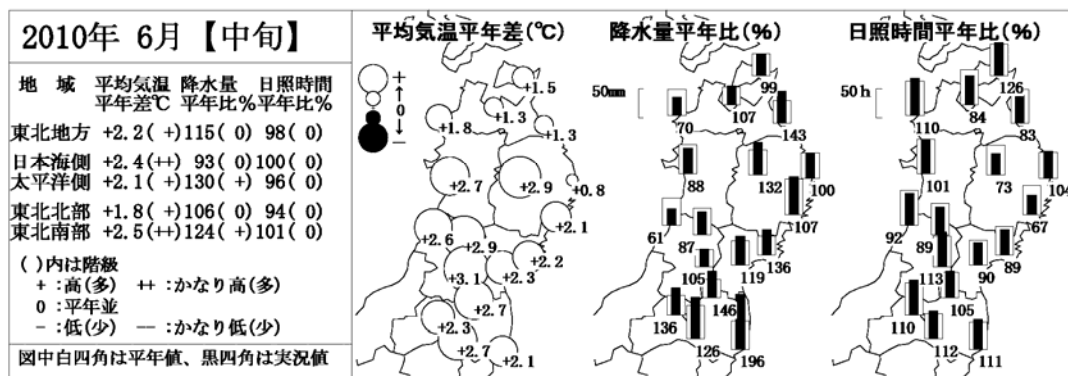
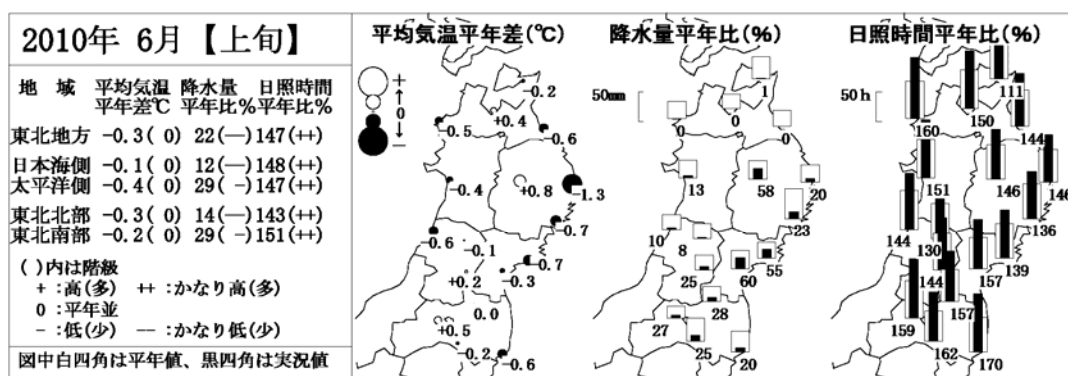
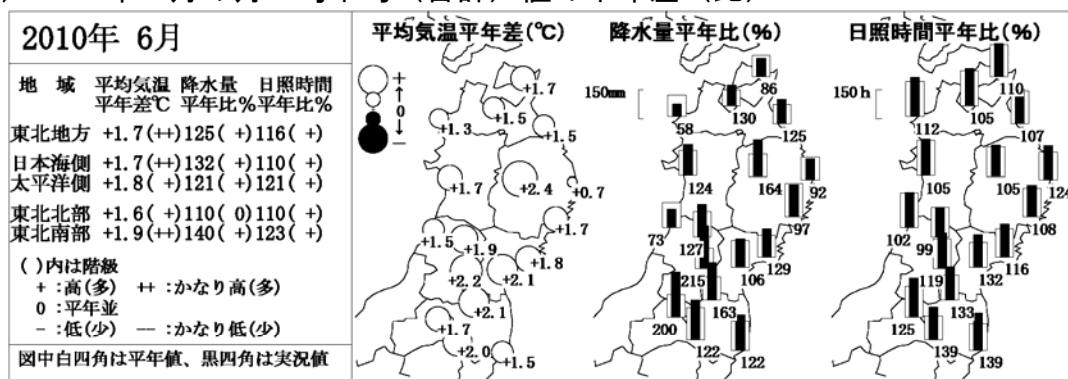
下旬：この期間、梅雨前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かったが、期間の中頃は高気圧におおわれ晴れの日もあった。気温は、日本付近に暖かい空気が入っている影響で高温となった。また、梅雨前線や上空に寒気を伴った気圧の谷の影響で大雨となった日があり、21 日は青森県で浸水害、23 日は山形県で山がけ崩れ害、28 日は福島県で山がけ崩れ害、29 日から 30 日は山形県で山がけ崩れ害などが発生した。

平均気温は東北地方でかなり高い。降水量は東北北部でかなり多く、東北南部で多い。日照時間は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で多い。

（注）気候統計値は、東北地方にある 17 地点の气象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。
細分地域については 2 ページ目脚注を参照して下さい。
平年値の統計期間は 1971-2000 年です。階級区分については、3 ページ目脚注 2 を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ先：仙台管区气象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

(3) 2010年6月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



平年値の統計期間は1971～2000年。

(注) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

(4) 2010 年 6 月の月気候表

地 点 名		平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比)階級			降水日数	日照時間(平年比) 階級		
		(℃)	(℃)		(mm)	(%)		≥1mm	(h)	(%)	
青 森		18.5	(+1.5)	+	107.0	(130)	+	8	190.4	(105)	○
深 浦		18.5	(+1.3)	+	63.5	(58)	—	9	201.0	(112)	○
む つ		17.3	(+1.7)	+	93.5	(86)	○	6	179.1	(110)	○
八 戸		17.6	(+1.5)	+	124.0	(125)	+	7	181.2	(107)	○
秋 田		20.5	(+1.7)	+*	158.5	(124)	+	9	186.4	(105)	○
盛 岡		20.6	(+2.4)	+*	188.0	(164)	+*	11	159.7	(105)	○
大 船 渡		19.0	(+1.7)	+	166.0	(97)	○	11	160.1	(108)	○
宮 古		16.7	(+0.7)	+	108.0	(92)	○	8	173.4	(124)	+
仙 台		20.4	(+2.1)	+*	146.5	(106)	○	10	168.9	(132)	+
石 巻		19.5	(+1.8)	+*	144.5	(129)	+	8	168.9	(116)	+
山 形		21.7	(+2.2)	+*	220.5	(215)	+*	11	182.9	(119)	+
新 庄		20.6	(+1.9)	+*	166.0	(127)	+	10	150.5	(99)	○
酒 田		20.8	(+1.5)	+*	93.5	(73)	○	11	179.4	(102)	○
福 島		22.0	(+2.1)	+	192.0	(163)	+	11	172.7	(133)	+*
若 松		21.5	(+1.7)	+*	231.0	(200)	+*	12	197.8	(125)	+
白 河		20.4	(+2.0)	+*	205.0	(122)	+	14	169.9	(139)	+*
小 名 浜		19.8	(+1.5)	+	183.5	(122)	+	11	192.8	(139)	+*

(注) 1. 平年値は1971～2000年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1971～2000年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めた。

また、値が1971～2000年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に*を付加した。この場合には

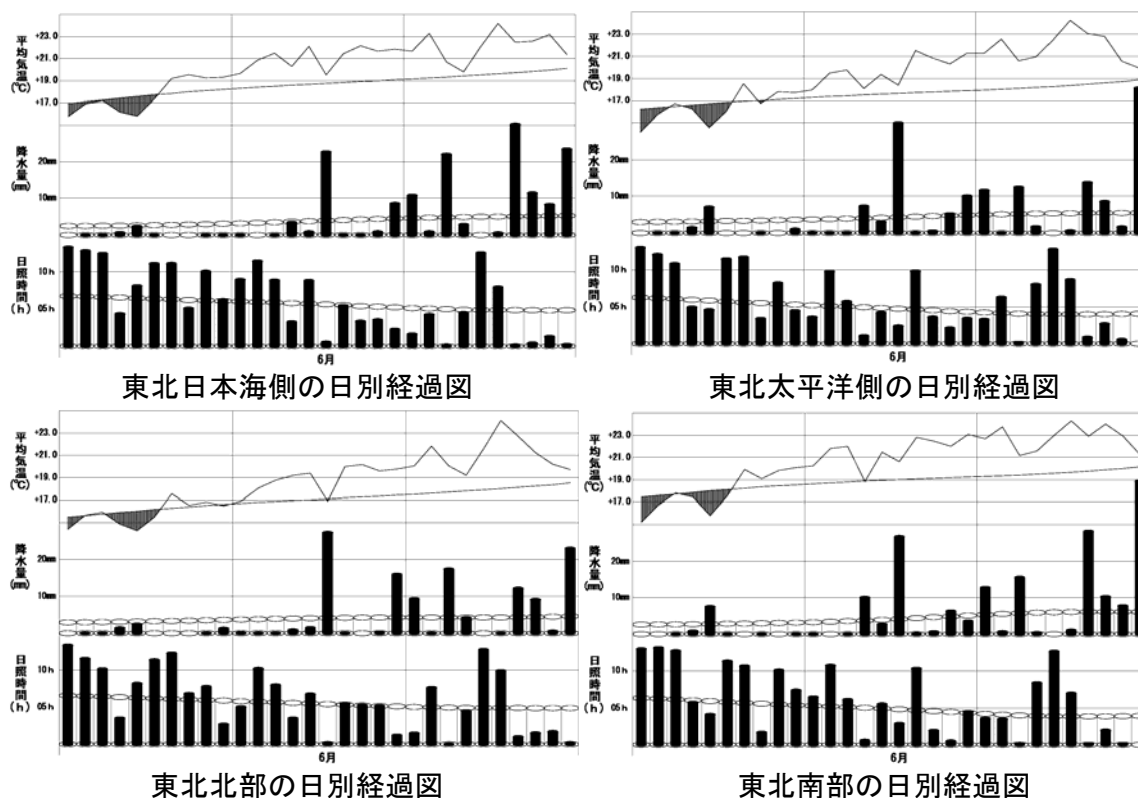
かなり高い(多い) かなり低い(少ない)

と表現できる。

3. 値の横に「)」や「]」がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。「)」付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができるが「]」付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

(5) 2010 年 6 月の日別経過図



気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均（気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）

(6) 2010 年 6 月の極値・順位の更新

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃（西暦年）	開始年	平年値 ℃
1	盛岡	20.6	+2.4	20.2（2007）	1924	18.2
2	新庄	20.6	+1.9	20.8（2005）	1958	18.7
3	若松	21.5 =	+1.7	21.9（2005）	1954	19.8
	仙台	20.4	+2.1	21.4（1979）	1927	18.3
	白河	20.4 =	+2.0	20.8（1979）	1940	18.4

月平均気温低い方からの順位更新

3 位以内はなし

月降水量多い方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
2	若松	231.0	200	288.0 (1978)	1954	115.7

月降水量少ない方からの順位更新

3位以内はなし

月間日照時間多い方からの順位更新

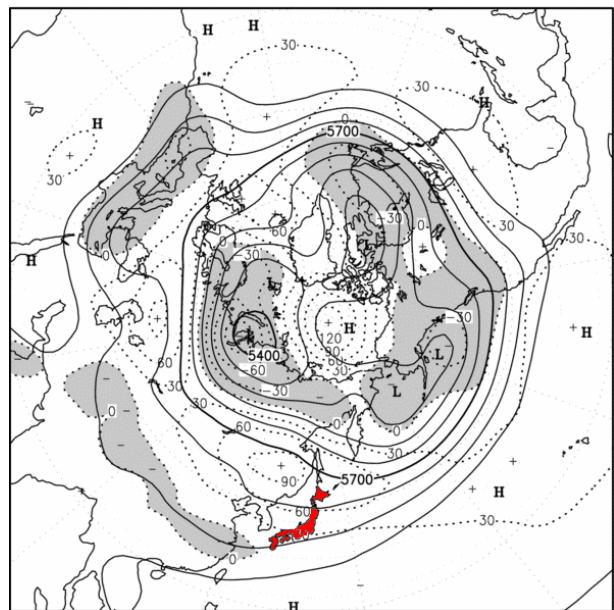
3位以内はなし

月間日照時間少ない方からの順位更新

3位以内はなし

(7) 2010 年 6 月の循環場の特徴

500hPa 高度では、アラビア海から南西諸島付近にかけて負偏差がみられ、亜熱帯ジェット気流がユーラシア大陸から日本の南で南偏し、梅雨前線の北上は遅くなった。また、日本付近の中緯度帯は帯状に正偏差となった。東北地方は、中国東北区を中心とする顕著な正偏差におおわれ高温となった。



2010 年 6 月の平均 500hPa 高度

実線は等高度線：60m 毎、点線は偏差：30m 毎
陰影部は負偏差（寒気に対応）

(8) 2010 年の梅雨入りの状況 (速報値)

地方	平成 22 年	平年差	昨年差	平年	昨年
沖縄	5 月 6 日ごろ	2 日早い	12 日早い	5 月 8 日ごろ	5 月 18 日ごろ
奄美	5 月 6 日ごろ	4 日早い	12 日早い	5 月 10 日ごろ	5 月 18 日ごろ
九州南部	6 月 12 日ごろ	14 日遅い	10 日遅い	5 月 29 日ごろ	6 月 2 日ごろ
九州北部	6 月 12 日ごろ	7 日遅い	9 日遅い	6 月 5 日ごろ	6 月 3 日ごろ
四国	6 月 13 日ごろ	9 日遅い	10 日遅い	6 月 4 日ごろ	6 月 3 日ごろ
中国	6 月 13 日ごろ	7 日遅い	10 日遅い	6 月 6 日ごろ	6 月 3 日ごろ
近畿	6 月 13 日ごろ	7 日遅い	10 日遅い	6 月 6 日ごろ	6 月 3 日ごろ
東海	6 月 13 日ごろ	5 日遅い	10 日遅い	6 月 8 日ごろ	6 月 3 日ごろ
関東甲信	6 月 14 日ごろ	6 日遅い	11 日遅い	6 月 8 日ごろ	6 月 3 日ごろ
北陸	6 月 13 日ごろ	3 日遅い	10 日遅い	6 月 10 日ごろ	6 月 3 日ごろ
東北南部	6 月 14 日ごろ	4 日遅い	10 日遅い	6 月 10 日ごろ	6 月 4 日ごろ
東北北部	6 月 16 日ごろ	4 日遅い	12 日遅い	6 月 12 日ごろ	6 月 4 日ごろ

(注) 梅雨は季節現象であり、その入り明けは、平均的に 5 日間程度の「移り変わり」の期間があります。ここに掲載した期日は移り変わりの期間の概ね中日を示しています。
「平年」は、平成 12 年 (2000 年) までの過去 30 年の平均 (入り・明けを特定しなかった年は除外) の日付です。